



News Letter

Vol.4
2026年

一般社団法人 東京都人と動物のきずな福祉協会

小さな命を想う心が、やさしい明日を開いていく。

2025年3月から私たちは都廃棄物埋め立て処分場で猫たちの救出活動を行なっています。
2026年1月末現在までに保護されたのは70頭。



2025年3月2日、初めて現場に足を踏み入れたときに保護したのが三毛猫の仮称・ぼたんちゃんです。埋立地からのレスキュー猫では第1号の譲渡決定。1カ月半後の4月29日に終生のお家にお届けしました。

竹藪の地域で保護した茶トラ猫の仮称・タケちゃんは、動物病院に1カ月余り入院し、脱水、寄生虫病を乗り越えて、私たちが運営する東京シェルター・シェアリング神田神保町に入所。8月2日家族猫となっています。

Tokyo Metropolitan Society for
Human-Animal Welfare

「東京都廃棄物埋め立て処分場」(江東区)は、都内23区から出る生活ごみや、中小事業者が排出する産業廃棄物を処分するための場所です。

東京ドーム約42個分という広大な土地に、猫が取り残されていることをご存じでしょうか。

一般の市民が出入りすることのない特殊な場所であるがゆえに、その存在は知られることなく、猫たちは過酷な環境の中で生まれては命を落とす状況が続いてきました。

この国に命を見捨てない仕組みを。 廃棄物埋め立て処分場の「猫ゼロ計画」(現場発)

私たちがこの場所に猫が取り残されている事実を知ったのは、地元のボランティア団体から協力の相談を受けたことがきっかけでした。2025年3月、一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会は、東京都廃棄物埋め立て処分場内で暮らす猫たちの保護活動に初めて関わることになります。

知られることのなかった場所で

廃棄物埋め立て処分場は、都内23区から出る大量のごみを受け入れ、東京の都市機能を支える重要なインフラです。一方で、一般市民が立ち入ることはなく、動物が暮らすことなど想定されていない場所でもあります。

この施設に部外者である私たちが立ち入り、猫の保護活動を行うことについて、当初、施設側は難色を示していました。メタンガスやダイオキシンの発生リスクがあり危険であるため、安全管理の面からも活動できる場所も限定。廃棄物の輸送業者の大型トラックの出入りのない日曜日のみ、わずか2時間、猫の捕獲器を設置することが許可されたのでした。

しかし、2時間だけでは猫を捕まえるのはなかなか難しい。「命あるものを、このまま見捨ててよいのか」という問いが、少しずつ共有されていきました。慎重な協議を重ねた末、限られた条件のもとで救出活動が認められることになったのです。

過酷すぎる環境で生きるということ

埋め立て地の環境は、想像以上に過酷でした。冬は海風にさらされ、体の芯まで凍るような寒さに耐えなければなりません。夏は日差しを遮るものがほとんどなく、地表温度は40度を超えます。

命の灯が消えようとするのを職員や業者の方々が見るに見かねて、簡易的な日除けを設置し、可能な範囲で水や食べ物を与えてくださっていましたが、それ

でも十分とは言えません。

初めての保護活動の日、捕獲器に食べ物を入れて設置する前から、猫たちが次々と集まってきました。どの猫も痩せ細り、明らかに栄養が足りていない状態でした。「食べる」という当たり前のことが、常に足りない日常だったのです。

命が循環しない現実

調べていく中で、猫たちはヘビやカエル、ミズなどを捕食して生き延びていたことがわかりました。その影響で、回虫、毛細線虫、瓜実条虫、鉤虫、鞭虫、マンソン裂頭条虫、コクシジウム、糞線虫疑いなど、東京ではあまり見られない寄生虫も複数確認されました。マンソン裂頭条虫はカエルなどを食べることで感染し、毛細線虫はミズを介して寄生します。このため、通常は約2週間としている保護猫の隔離期間を、埋め立て地から保護した猫については3週間から1カ月以上に延ばし、入院させてもらっています。

2025年2月に寄せられた情報では、「猫が5～6頭ほどいる」とのことでした。しかし実際には、すべての猫が未不妊・未去勢の状態、限られたエリアの中で繁殖を繰り返していました。生まれても十分なケアを受けられず、また次の命が生まれる—そんな循環が、誰にも知られないまま続いていたのです。

この現実を変えなければなりません。

私たちは、ここを「命が見捨てられる場所」ではなく、「命を止め、つなぎ直す場所」にするため、廃棄物埋め立て処分所「猫ゼロ計画」に取り組んでいます。



真夏の灼熱の太陽の下、採石場にも猫の姿が…。



採石場の近くで、痩せ衰えてあばらの浮いた白猫を発見。フードを与えると、むさぼるように食べた。この猫は、仮称「カモミール(カモミ)」。シェルターで見違えるように毛つやも肉づきも良くなり、2月初旬「終生の家族」の元に。



都環境局のヘルメットを被る当協会の古川尚美・業務執行理事。現場の職員も猫たちの状態に胸を傷め、日除けを設えてくれていた。日差しを避けながらフードを食べる白猫。



茶白の仮称「ミロ」は、風邪症状が重く、目やにと鼻水で顔がくちゃくちゃになっていた。保護するのが遅れたら、命も危ぶまれていただろう。病院で健康状態良好となり、シェルターで「終生の家族」とご縁が結ばれた。



体感温度が40度を超える酷暑の夏、日除けは猫にとって地獄に仏だった。この白猫は仮称「アッサム」。2月1日現在、シェルターでご縁を待ちながら元気に過ごしている。



11月に保護された茶トラと茶白の子猫たち4頭は動物病院を介して譲渡へ。



炎天下で痩せて脱水となっていた猫たちを次々と保護。黒猫はシェルターで仮称「オリオン」となった。



3月にトラップインした猫、仮称「みつば」は、動物病院を介して譲渡された。



強烈な日差しから逃れようと運輸業者の大型トラックの下に。



車で走っていると、ここが都内?と驚くほど広大な土地。遠くに東京都のシンボル、イチョウのマークが見える。



どうか助けてください、というように、こちらに向かって走り寄ってきた白猫を私たちは「レオナルド」と名付けた。レオナルドは病院で重篤な悪性腫瘍が見つかった。



自生する竹林に入り、捕獲器を設置。



8月に保護された猫の1頭は、口の中に小枝が深く刺さっていた。食べるものがなく、木についていた虫を必死に食べようとしたのか。写真のページュの毛の猫は仮称「ペリエ」。シェルターで家族との出会いを待ちつつ元気に過ごしている。



8月現場に入ったボランティア(女性)の様子。冷感ポンチョ、保冷剤、タオル、ヘルメットで完全武装。熱中症との闘いの現場だ。



人から迫害されていなかったからか、埋め立て地で保護された猫たちは人馴れが早い。写真の猫、仮称「あやめ」も3月に保護されて、7月に家族猫となった。

廃棄物埋め立て処分場からレスキューされたのは71頭。 そのうち40頭がお家の子になりました♡

2025年3月から2026年2月1日までに、廃棄物埋め立て処分場からレスキューされた猫たちは計71頭になりました。そのうち40頭が、2月初旬までに新しい家族と出会い、「お家の子」としての一步を踏み出しています。ハートマークの子たちはお家の子となっています。

保護時には、痩身や衰弱、脱水、寄生虫症、皮膚症状、ケガなど、重い状態の猫も少なくありませんでした。こうした猫たちを受け入れ、懸命な医療とケア、そして

譲渡まで支えてくださっている荻谷動物病院グループ三ツ目通り病院、赤坂動物病院、モフ動物病院に、心から感謝をお伝えします。また、猫たちが譲渡までの時間を安心して過ごし、療養や社会化に取り組めるのは、シェルターという居場所があるからこそです。東京シェルター・シェアリング神田神保町をお金や物品で支えてくださっている多くみなさまのご支援に、あらためて深く感謝申し上げます。



白猫レオナルドさん、安らかに

埋め立て地からレスキューされた猫たちが、ひとり、またひとりと幸せへの道を歩むなかで、扁平上皮癌を患っていたレオナルドさんは、静かに旅立ちました。高度先進医療である電気化学療法にも取り組みましたが、がんの進行は早く、命をつなぐことはできませんでした。短い時間ではありましたが、人の手のぬくもりと医療に支えられながら過ごせたことを、私たちは忘れません。



廃棄物埋め立て処分場からの保護猫たち、30頭が家族大募集中です！ オープンシェルター保護猫譲渡会へぜひ来てください



※病院に入院中の子は写真がありません。

都内で保護されてシェルターで過ごしていた猫たちもお家の子になりました♡



能登半島地震の被災猫たちも幸せになっています♡

2024年1月1日に発生した能登半島地震と同年9月下旬の奥能登豪雨では、環境省動物愛護管理室及び石川県動物愛護センターと連携協働して、私たちは被災猫49頭を引き取りました。

これまでに譲渡が完了しているのは45頭。2025年1月から26年2月上旬までにお届けした12頭をご紹介します。ご縁を待っているのは残り4頭！※名前はシェルターでの仮称のままです。



東京シェルターシェアリング神田神保町を支えるみなさま

暁星中学校・高等学校チャリテ委員会

千代田区にあるカトリック系の中高一貫校、暁星中学校・高等学校の「チャリテ委員会」から、高校生4名と先生2名がシェルターを訪ねてくださいました。エトワール祭(文化祭)のバザーで集めたご寄付は15万円。「猫たちに会いたくて、みんなで一生懸命、寄付を集めました」と話してくれました。猫たちと触れ合いながら、能登の被災地のこと、廃棄物埋め立て処分場の猫たちのことなどをお伝えしました。「集めた寄付が使われる猫たちに、実際に会えてとてもうれしいです」。そう話すみなさんの表情は、終始、笑顔にあふれていました。



企業のCSR J.P.モルガン

企業のCSRとは、社会の一員として企業が果たす役割のこと。米国ニューヨークに本拠地を置くグローバルな金融機関、J.P.モルガンでは、社員がボランティア活動に参加することが積極的に奨励されています。私たちのシェルターでの活動は、今から3年前にスタートしました。月に2、3回、社員のみなさんが定期的に訪れ、施設の清掃などを手伝ってくださっています。写真は、クリスマスシーズンの活動のひとつ。あたたかな雰囲気のなか、私たちと一緒にクリスマスの時間を楽しみました。



往診デー・定期健康診断

シェルターでは、荏谷動物病院グループ 三ツ目通り病院の獣医師と愛玩動物看護師のみなさんが定期的に往診に来てくださり、猫たちの健康診断を行っています。写真は、今年1月7日の往診の様子。血液検査やワクチン接種、抜歯後の経過確認など、その時々状態に合わせたケアが行われました。当日はシェルターの責任者と愛玩動物看護師が立ち会い、猫たちの日常の様子を共有しながら相談を重ねます。検査や治療が必要と判断された猫は、後日あらためて病院へ。日々の健康管理と医療が、こうして静かに支えられています。



もふ出版、編集室便り



漫画/鳥飼規世

人と動物を包括的に支援する私たちの活動は、みなさまからのご支援・寄付・募金によって支えられています。お金を出すことも素晴らしい社会貢献活動です。どうぞご支援、寄付・募金をお考えください。

ご支援・寄付・募金のお願い

■ 年会員 (年会費1口 5,000円~/年)

当協会の会員となって活動を支えてください。会費は年1回クレジットカードの自動引き落としが便利です。お振込みでも受け付けています(メールまたは電話でお名前とご住所をお知らせいただき、「会員希望」とお伝えください)。会員には、ニュースレターやお知らせをお送りします。



■ マンスリーサポート (500円~ご希望の金額/月)

毎月定額をご支援いただくことでシェルターの維持・管理、猫を保護して譲渡する活動が安定的に継続できます。
※クレジットカードでの自動引き落としのみ対応。サポーターには、ニュースレターやお知らせをお送りします。

■ 寄付・募金

いつでもご寄付・募金を受け付けています。1回1,000円からご希望の金額を、クレジットカードでの引き落としをご利用いただくか、右の金融機関にお振込みください。

■ 遺贈寄付・生前贈与

ご家族あるいはご自身の財産を動物愛護・動物福祉の活動に役立てたいとお考えの方が増えています。当協会では、エバーグリーン税理士法人と連携して専門的なアドバイスを提供し、遺贈寄付あるいは生前贈与を受け付けております。フォーム、メールあるいは電話でご相談ください。

■ Amazonほしい物リスト

シェルターでは、猫のトイレ砂、ペットシート、療法食のフードなど、大量の消耗品を必要としています。ぜひアマゾンのほしい物リストから消耗品をご支援ください。



■ 賛助会員 (賛助会員費 3,000円/年)

各都道府県・区市町村で地域に根差して活動する団体・個人のボランティアのみなさん、当協会の賛助会員になりませんか。人にも動物にもやさしい社会づくりのためにネットワークを強め、広げましょう。

賛助会員には、ニュースレターやお知らせが送られるほか、必要に応じて

- アドバイス&サポート
 - セミナー受講
 - 物資の支援
- などの特典があります。

■ 支援・寄付の振込先

■ みずほ銀行 九段支店(532)(普通)3223779

■ ゆうちょ銀行

- ゆうちょ銀行の口座間で振り込む場合
【記号】11300 【番号】04128351
- ゆうちょ銀行に他の金融機関からお振込みの場合
【店番】138 【口座番号】0412835
- ゆうちょ銀行 振替口座の場合
【口座記号番号】00180-7-266589

口座名義は、いずれも

「一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会」

(イッパンシャダンハウジン

トウキョウトヒトドブツツノキズナフクシキョウカイ)

東京都人と動物のきずな福祉協会ニュースレター 発行編集人 香取章子

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23-4 コーシンビル3階

TEL 03-6261-6967 MAIL methawelfare@gmail.com

HP https://metha-welfare.com

Facebook https://www.facebook.com/101224622856786



HP



Facebook



Instagram



ハゲー